

# ODA おしやりん

第 142 号

2019 発行  
9月 行

## ◎特集

一車いすユーザーが望む公共交通

2p  
3p

在宅勤務にやりがい

田島哲太さん

4p

会員投稿

じょくそつ  
褥瘡作っちゃいました

5p

職員紹介

6p

活動アラカルト

沖縄フェニックス第31回九州選手権報告

7p

お知らせ

バリアフリー相談支援活動スタートします／まちづくりプラン賞  
サンシャインゆいまーる基金お礼

8p

編集後記

8p



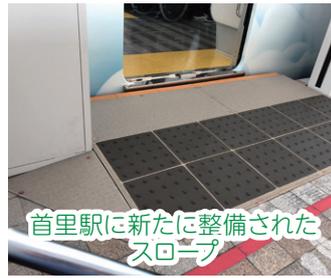
NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会 TEL.098-961-6715/FAX.098-961-6716  
〒901-2121 沖縄県浦添市内間5丁目4番3号 ハウジングシーサー101号  
E-mail office@okisekikyo.com  
ホームページ <http://okisekikyo.com/>  
facebook <https://fb.com/okisekikyo> Skype ID:okisekikyo

# 車いすユーザーが望む公共交通

## ゆいレールさん、しっかりしてよー!

9/14のゆいレール乗車の出来事。

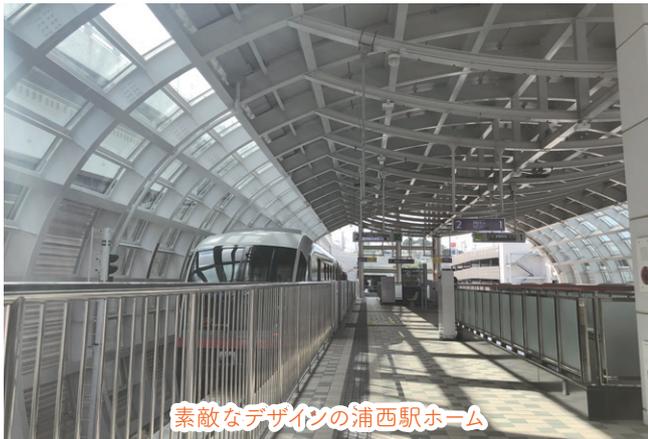
ゆいレール首里駅が「スロープ整備」したとのことだったので確認しに行きました。その帰りのことで、首里駅から乗り、おもろまち駅で



首里駅に新たに整備されたスロープ

降りる予定でした。ところが、対応する駅員が待ち構えていると思いきや誰もいない。終点の那覇空港駅まで乗る羽目に。

## 📷 フォトレポート：「てだこ浦西駅」に行ってきました!



素敵なデザインの浦西駅ホーム



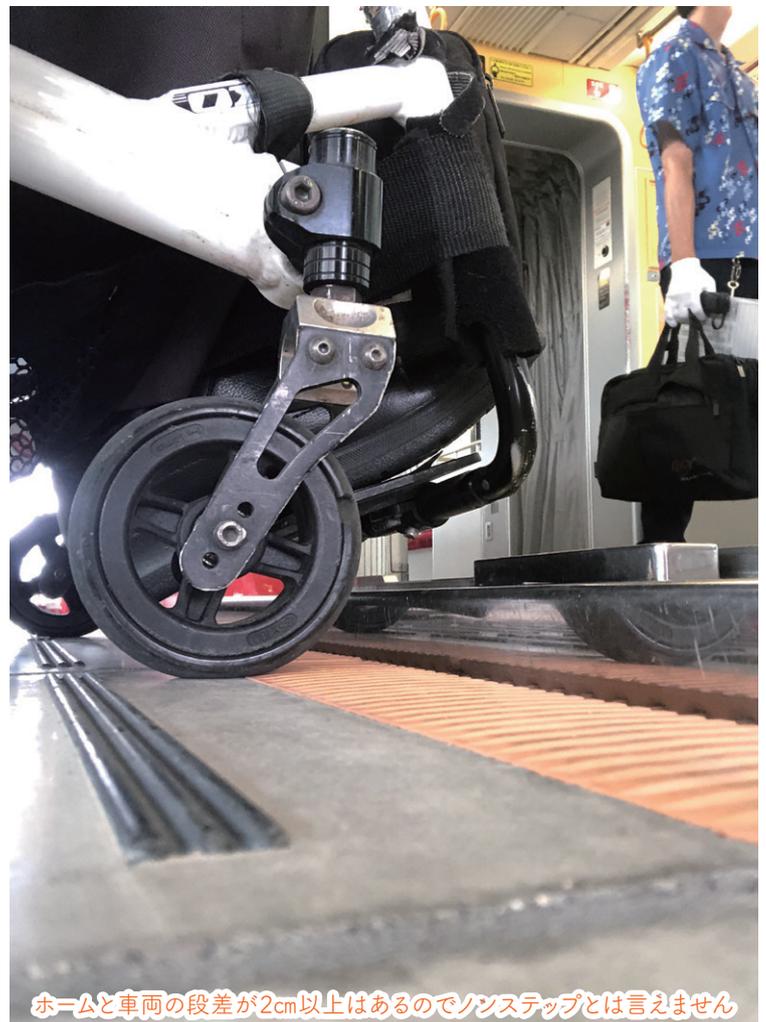
浦西駅前にあるパークアンドライド駐車場



公共の駐車場ですが障がい者割引はありません



駐車スペースは9台ありましたが、スペース案内表がなく探すのに戸惑いそうです



ホームと車両の段差が2cm以上はあるのでノンステップとは言えません



トイレは広く良かったです



駅施設内は点字ブロック施行されていますが、道路連結は未だ整備されていません



エレベーターからの車いすスペースのあるホーム昇降箇所は車いすマークが目立たなく戸惑いそうです

運転士に事情を話した後、再び乗車して目指したが、2回目も同じ。ついには出発点の首里駅に戻り3回目ようやく下車。

駅員さんによると「他の車いす利用者の対応に追われてしまい対応できなかった」「2回目については空港駅からの申し送りがなかった」とのこと。

2回目のことが曖昧だったので改めて経過説明を求めると申し出て、その日は帰りましたが、怒り心頭だったので、翌日にSNSのFacebookにアップ。その後10日ほど経ったのですがゆいレール社からの連絡はなし。

その後、そのSNS記事を琉球新報社コラム担当記者がキャッチし、コラム化したいとの申し出があったので承諾。それからです、ゆいレール社から謝罪と経過説明のコンタクトが入りました。予想ですが新聞社からの問い合わせを機に焦っての対応だと思う。

今回の出来事は人的ミスによるものですが、背景には駅員の人員不足。しかし最も重要なことはそもそもスロープを人員対応となっているのが問題で、スロープ整備することで解決することです。

最近のゆいレールは観光客の増加に伴い、通勤時間以外の日中でも満員状態。また、昨年国からの通知で、車いす優先スペースについてもベビーカーも対象となり、車いすユーザーの利用がますます難しくなっているのが現状。沖縄県では3両編成化の計画があるようなので、それを機に車いすスペース拡充も必要です。

これらの課題解決のために、沖脊協として延伸駅以外の駅のスロープ化と福祉スペースの拡充を近く文書で要望する予定です。

## 沖縄の路線バスのノンステップ化



ゆいレールをはじめ、沖縄の公共交通のバリアフリー化は確実に進んできています。

路線バスのノンステップ化は6年前までは0%だったものが現在は40%を超え全国平均以上になりました。また、観光バスのリフト付き車両導入も高い伸び率です。また、LRT（路面電車）導入運動などもあり「すべての人にやさしい移動環境」に向けて動いているのはありがたいことですが、車いすユーザーである私たち沖脊協が多くの車いすユーザーの代弁者として行動していく必要があります。そのためには、会員皆さんが常日頃から感じている、思っているバリアフリーに関することを事務局に伝えていただくとありがたいです。

## 「障がい者の移動と公共交通」テーマに円卓会議開催予定



公共交通政策は障がい者の移動を“権利”として取り組んでほしいと思います。そこで、沖脊協では「沖縄県における障がい者の移動と公共交通」をテーマとした検討・協議を公開討論したいと考え、円卓会議方式で

下記の内容で開催予定です。仮案ですが、是非多くの方が参加し討論に加わっていただければと思っています。

日時：2019年12月13日(金)

14：30～17：00

会場：那覇市牧志駅前ほしぞら公民館

(※会場は変更する場合があります。)

# ちはる歯科クリニック

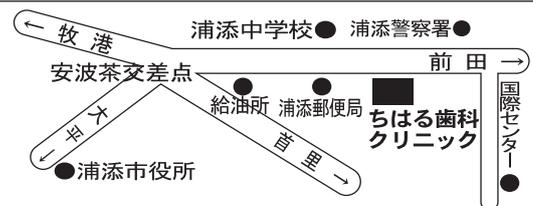
CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



### 訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!

対象者：在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。  
病院、保険施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

# 在宅勤務にやりがい：田島哲太さん

## 在宅勤務にやりがい

オートバイ事故による頸髄の損傷で肩から下半身にまひが残り、車いす生活を送る田島哲太さん(27)＝宜野湾市＝が6月から人材派遣会社のスタッフサービス・ビジネスサポート(本社・神奈川県)に就職し在宅勤務をしている。営業職員が外回りでもらった名刺データの誤字脱字を訂正する作業を担い、右手の小指でマウスを動かし1日平均20件をこなす。同様に在宅勤務する重度身体障がい者と共に9人で業務を担当し、1日に3回開かれるウェブ会議に参加し、業務の進捗状況や疑問点を共有している。

## 人材派遣会社就職 自ら稼ぐ給料に“重み”

浦添市の障がい者ITサポートおきなわで就労訓練を始めてから就職するまでの2年間、生活保護を受けていたという田島さんは「仕事が楽しい。自分で働いてお給料をもらってお金の重みも感じるようになった」と話す。

全国で255人の重度身体障がい者を在宅雇用している同社は、2018年から県内での採用を開始。自力で通勤することが難しく生活介助が必要な12人が在宅で働いている。

週30時間の就業で自由にシフトを組むため、介助

や通院などそれぞれの生活スタイルに合わせた勤務が可能だ。

田島さんはシステムで読み取った名刺データを確認して修正作業を行う。

「会社名や名前が旧漢字のときは難しい」と話しつつ「休憩を忘れるくらい仕事に集中してしまう」と充実感をにじませる。

事故前は建設現場で働いていたという田島さん。「業種は違うが当時の『休みの日が楽しみ』という気持ちを思い出してきた。お給料をプライベートで思いっきり使えるのがいい」と働く喜びをあらためてかみしめている。

第3種郵便物認可 月刊め購読料3,075円(本体2,848円+消費税227円) 主売



浦添市の障がい者ITサポート 就職するまでの2年間、生活保護おきなわで就労訓練を始めてからを受けていたという田島さんは

### 頸髄損傷 田島さん(宜野湾市)

オートバイ事故による頸髄の損傷で肩から下半身にまひが残り、車いす生活を送る田島哲太さん(27)＝宜野湾市＝が6月から人材派遣会社のスタッフサービス・ビジネスサポート(本社・神奈川県)に就職し在宅勤務をしている。営業職員が外回りでもらった名刺データの誤字脱字を訂正する作業を担い、右手の小指でマウスを動かし1日平均20件をこなす。同様に在宅勤務する重度身体障がい者と共に9人で業務を担当し、1日に3回開かれるウェブ会議に参加し、業務の進捗状況や疑問点を共有している。

在宅勤務にやりがい

8月からデータ入力を担当し「休むのを忘れるくらい仕事に集中してしまう」と話す田島哲太さん(27)日、宜野湾市の自宅

## 人材派遣会社就職 自ら稼ぐ給料に“重み”

「仕事が楽しい。自分で働いてお給料をもらってお金の重みも感じるようになった」と話す。全国で255人の重度身体障がい者を在宅雇用している同社は、2018年から県内での採用を開始。自力で通勤することが難しく生活介助が必要な12人が在宅で働いている。

週30時間の就業で自由にシフトを組むため、介助や通院などそれぞれの生活スタイルに合わせた勤務が可能だ。

田島さんはシステムで読み取った名刺データを確認して修正作業を行う。

「会社名や名前が旧漢字のときは難しい」と話しつつ「休憩を忘れるくらい仕事に集中してしまう」と充実感をにじませる。

事故前は建設現場で働いていたという田島さん。「業種は違うが当時の『休みの日が楽しみ』という気持ちを思い出してきた。お給料をプライベートで思いっきり使えるのがいい」と働く喜びをあらためてかみしめている。

(上里あやめ)

R.C.Y.

## リハビリテーションクリニック

# やまぐち

〒900-0003 那覇市安謝1-10-28  
**TEL098-864-1100**

診療スタッフ

院長	山口 健	リハビリテーション科専門医
副院長	山口 浩	整形外科専門医
リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師		

診療科目/リハビリテーション科・整形外科 ▶身体機能訓練  
▶身体能力訓練 ▶言語訓練 ▶摂食嚥下訓練 ▶認知訓練

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~11:30	○	○	○	○	○	○
午後 2:00~6:00	○	○	○	○	○	○

安らぎ・癒し・元気を提供します。

浦添 国道58号 奥武山

ファミリーマート

ローソン

那覇国際高校

天久りうぼう薬市

リハビリテーションクリニック  
**やまぐち**

佐川急便

新都心公園

あっぷるタウン

県立博物館・美術館

メインプレイス

# 会員投稿

## 褥瘡作っちゃいました

事業所の利用者である友利さんは車いす生活が6年になりますが、車いす生活にまだまだ慣れていません。最近、ついに「褥瘡(じょくそう)」を油断して作ってしまいました。長時間同じ箇所を圧迫することで起こる褥瘡はなかなか治りづらく、じっとしていないといけないのでかなりストレスが溜まります。そんな生活をレポートしていただきました。

木曜日に車椅子バスケの練習から帰って来て、お尻に50円玉の穴ぐらいの大きさで皮が剥けてるってヘルパーさんが言っていたけど別に気にもしないでした。

土曜日に入院時代の病院のPT・OT・相談員達と2年ぶりに飲み会をしていろいろな情報交換などをし楽しい時間を過ごしました。



日曜日にも皮が剥けてる事も忘れていつも通り車椅子に乗って過ごしましたが月曜日になるとお猿さんのお尻みたく皮のむけが広がっていてヤバイ褥瘡だと思いました。

でも軽く考えて火曜日に事業所に通所するつもりで車椅子に乗車して朝食を食べてたらFさんから電話があり、「バカたれ〜ベットに戻れっ！」て

言われベットに上がりました。

その後すぐにFさんが訪問してくれて体位変換の体勢とか教えてくれ、ベット上で褥瘡部分のお尻に圧がかからないような横向きの状態での生活がスタートしました。



水曜・木曜日は普段使っているマットで過ごしましたが、(ずっと横向きで)



余りにも肩が痛いので木曜日にエアマットを入れてもらい肩の痛みはなくなりましたがエアマット上では動きづらくストレス溜まりまくりです。ですが早く完治するためには我慢するしかありません。

褥瘡になるのは今回で2回目ですけど、1回目の時に比べたら治りも早く3週間ぐらいで車椅子にも乗れそうですので嬉しいです。

処置が早かったのが良かったのでFさんには頭が上がらないくらい感謝しています。

Fさん、本当にありがとうございます。

(友利克也)



# 活動アラカルト

## 沖縄フェニックス第31回九州選手権報告



去った9月6～7日に、第31回九州ツインバスケットボール九州選手権大会が佐賀県であり、沖縄フェニックスも去年の熊本大会に続き優勝目指して頑張ってきました。

初日はシードなので2回戦からの出場となり、対戦相手は1回戦を勝ち抜いてきた大分県の太陽の家アポロズでした。試合開始早々から力の差を見せつけ、82対8と大差をつけ翌日のセミファイナルに臨みました。

セミファイナルの相手は、これまた1回戦を勝ち

抜いてきた福岡県の福岡BEATと戦い、前日同様に力の差を見せつけ84対15でファイナル進出を決めました。

ファイナルの相手は、去年と同様に福岡県の博多パトラッシュでした。お互い何回も対戦していることもあり、手の内は知ってるので緊迫したゲーム展開でした。

ゲーム開始当初は、相手のペースで進み10点差まで離されていましたが、そこから仲里選手がギアをトップギアに変えて相手を置き去りにし自ゴールまでボールを運び、円外シューターの洲鎌選手がいつも以上の力を出しシュートがバンバン決まりだし、逆転して最後まで博多パトラッシュの猛攻を振り切り、55対51の僅差で勝ち見事に2連覇を達成する事ができました。

大会MVPには、ディフェンスで相手の円内に何もさせなかった大城一志監督が選ばれ、監督になって最初の大会で優勝&MVPを取って喜びも格別だったと思います。おめでとうございます！

自分は土曜日の1試合目に出場し、ホテルに帰ると寒気がして熱を測ってみると39.8度もあり、セミファイナル&ファイナルは強制出場停止になり泣く泣く応援に回りました(笑)。



### からだの痛み・悩みを 自宅で解消!



代表 林 秀一  
TEL: 098-867-0006  
FAX: 098-867-0008  
〒900-0004  
那覇市銘苅2-11-19  
グローヴィーサイト新都心2F

## 琉球治療院

リハビリ・はり・きゅう・マッサージ

年中無休 9:00~18:00

沖縄県内全域で出張施術します。



# 0120-680-006

mail info@ryukyu-chiryoin.com http://www.ryukyu-chiryoin.com/

**①沖縄県障がい者ITサポートセンター**



【名 前】伊集雄輝 (いじゅゆうき)  
 【年 齢】39歳  
 【出身地】具志頭村字後原 (現八重瀬町)  
 【出身学校】小学校～高校：地元  
 の学校、専門学校：大育情報ビ  
 ネス専門学校 経理専攻

【趣 味】釣り、バドミントン (サークルで活動中、  
 初心者です)  
 【特 技】パソコンいじり、話をきいたりすること (ア  
 ドバイスは苦手)  
 【これまでの経歴】20代前半：就職した会社で、パ  
 ソコンやプリンタ販売・簡易LAN構築を実施  
 20代後半：派遣先でプログラムばかり触っていま  
 した  
 30代：1、2年はプログラムばかり触っていました、  
 その後はコールセンターのオペレーターしてました。  
 【これからの意気込み】 ITの分野は好きなのもあつ  
 て得意ですが、福祉の分野はこれから勉強していき  
 ます。  
 相談や支援を色んな方にしていきたいと思いま  
 すので、どうぞよろしく願います。

**②障がい者ITサポートおきなわ**



【名 前】岩松学 (いわまつまなぶ)  
 皆様、初めまして。  
 7月より勤めています。男性、  
 53才。身長175cm、体重75kg。  
 家族は妻、娘2人、母。

前職は高齢者介護の仕事をして  
 おりました。その間、働きながら、たくさん勉強も  
 して、介護福祉士の国家資格も取得し、管理者も経  
 験しました。自宅では認知症の母が日々問題行動を  
 頻発していたので、介護のために離職しました。そ  
 の後、老人ホームに入所が決まり、就職活動を始めて、  
 最初に応募したのが、沖縄県脊髄損傷者協会でした。  
 障がい者の就労支援や介護も高齢者の介護も、福  
 祉の精神は変わらないと思  
 います。  
 できる限り、自立のお手伝  
 いをしていきたいと考えてい  
 ます。  
 どうぞよろしく願います。



**職員紹介**

**引き続き実施中！実態調査**

離島を含む県内在住の脊髄損傷者への方へ行っている実  
 態調査ですが、回答受け付けを再延長します。  
 ネットでの入力も受付けており、下記URLま  
 たは右のQRコードから今すぐ回答できます。  
<https://questant.jp/q/n4-jittai>

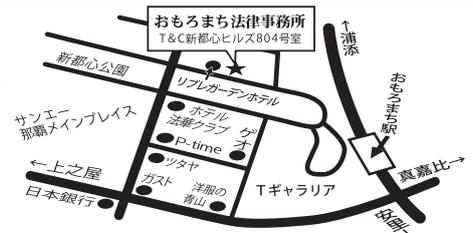


紙での回答をご希望される方は下記のお問い合わせ先へ  
 ご連絡いただくとお送りします。(切手付きの返信用封筒  
 も入っていますのでそのままポストへ投函可能)  
 なお、この調査で知り得た内容はプライバシー保護の為、  
 当該調査の目的以外には使用しませんので、安心してお  
 答え下さいますよう重ねてお願い致します。

**交通事故の法律相談**

人身事故被害に関する法律相談は、  
 おもろまち法律事務所へ

那覇市おもろまち4-17-25T&C新都心ヒルズ804号室  
 弁護士 坂井大高 (沖縄弁護士会所属)  
**【完全予約制】 ☎(098) 963-6268**  
 ※ ご予約の際「しゃりん」を見たとお伝えください。



◆人身事故被害の【無料】法律相談を実施しています。  
 移動が困難な方には、出張相談や電話相談のご利用が可能な  
 場合もありますので、お問い合わせください。  
 相談例：後遺障害等級、賠償金額の増額交渉、休業損害、慰謝料、  
 労働能力喪失率、治療の打ち切り、自宅改造費用など



民間車検場 (沖指第590号) / (株) ミクニライフ&オート総合代理店

**ニッシン自動車工業沖縄**

身体障がい者用自動車運転装置・福祉車両製作・販売・レンタカー・車検・一般修理・板金塗装

**TEL: (098) 958-6556**  
**FAX: (098) 958-6522**

〒904-0302 沖縄県中頭郡読谷村喜名 219  
 E-mail: info@nissin-okinawa.info

代表 山城 貞二



## バリアフリー 相談支援活動スタートします

沖脊協では年度末までの間に「バリアフリー当事者アドバイザー事業」と称して県内の当事者及び自治体や民間事業者へ向け、バリアフリーに関する相談活動やセミナーを開催します。

この事業は県の2019年度障害者社会活動推進事業補助金を利用して沖脊協のメンバーが行うことでバリアフリー相談支援や助言を車いすユーザー目線で行え、行政や県民に当事者目線のバリアフリーデザインの普及促進を図ることが狙いです。

具体的には車いすユーザーによる「バリアフリーアドバイザー」を配置し、バリアフリー住宅改修や行政、民間業者による道路や建築物、公園などの計画や施工方法等に対してアドバイス活動を展開する取り組みを行います。

また「移動と交通に関する円卓会議」を開催し、バリアフリーに関する啓発・社会喚起を行っていきます。

昨今では障がい当事者の住宅施工・改修が必要な時にアドバイスできる存在や具体的な施工例が不足しており、工事を行うにあたり必要な情報や支援機関との連携も必要なため、相談支援員等のネットワーク形成も大事な要素となっています。自治体や民間業者などの現場職が当事者の意見を学ぶことでより当事者に寄り添ったバリアフリー施行に繋がることや、自治体へは意見提言をすることでより適切なバリアフリー関連計画に繋がる狙いのもと、効果的に実施してゆく構えです。



## まちづくりプラン賞

8月10日に「シンパネットワーク・大成ホーム協力事業第19回浦添市まちづくりプラン賞」が浦添市ハーモニーセンターで開かれ、前回に引き続き50万円コースで受賞しました。

「障がいを持つ人たちの働くを応援する事業」というテーマの元、今回は浦添市内の障がい者就労支援事業所と企業とのビジネスマッチングサイト「ていだジョブ」立ち上げとパンフレットを製作。今回は広報啓発やアクションに主眼を置き、頂いたお金をシンポジウム開催パネル展示紹介、就労支援事業所の紹介動画制作で活用します。

人手不足や障がい者の就労が叫ばれる中、積極的に周知広報活動をしていきたいと思っております。

## サンシャインゆいまーる基金お礼



### サンシャイン ゆいまーる

サンシャインゆいまーる基金より、多額の寄付金を頂きました。

寄付金は第5回2019年前期クールの投票結果から集計され、全投票数の2%ほどが沖脊協へ投票でしたが、それでも95,000円の寄付金贈呈額でした。

パチンコ・パチスロ愛好者の皆さま、また、基金を運営して下さっているサンシャイン様へこの場をお借りしてお礼申し上げます。寄付金は会活動へ有効に活用させていただきます。

## 編集後記



台風が去り、夜は少しずつ涼しくなってきました。扇風機では寒くて起きてしまうことも増えてきました。飼っているネコも、いつもの寝床を冷たい床の上からダンボールやタオルの上に移動するなど、少しずつ秋の気配が感じられます。季節の変わり目は体調の変化に気をつけ、早めの対策が取れる心の余裕を持ちたいですね。(砂川)

## 2019年度より会費額を改正しました。ご協力お願いします。

**変更前** 年額 **6,000円**  
(月額500円)



**変更後** 年額 **3,600円**  
(月額300円)

理由は、会費を減額し負担軽減することと会費徴収事務の効率化を理由としておこないます。については、会費の納付について、**自動引き落とし制度を導入します**。5/26日の総会後に会員宅に郵送等により自動引き落としの依頼をさせていただきますのでご協力をお願いいたします。